別紙 2 【調査票】

学校番号	学 校 名	課程
6 9	県立勿来工業高等学校	全日制

I期選抜

大学科	募集	志願してほしい生徒		選 抜	資 料		備考
小学科	定員枠	心順してはしい生化	志願理由書	調査書	面 接	その他	/佣 45
工業科機電電建工業化人工業務を開催を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を		本校では、「自立・努力・責任」を校割とし、「ものづくり」をとおして「地域を支える工業人の育成」に努めている。 そこで、基本的生活習慣が確立されての高きを検測である生徒をでかって、基本的規極的シップを発揮を求め、技能の習得に対し、対策を発揮を表別である。 A (学業):ものづくりに興味関心があ向取り、を図り、かつ、資格取の進路目標のために対する者 B (部の進路目標の実現のために対する者 B (部の進路目標の実現のために対する者 B (部の進路目標の実現がありまる者 C 学習に対し、学習に対し、学習がありまる者 C 学業に対し、対策を対し、対策を対し、対策を対し、対策を対し、対策を対し、対策を対し、対策を対し、対策を対し、対策を対策を対し、対策を対し、対策を対策を対し、対策を対策を対し、対策を対策を対し、対策を対策を対策を対策を対策を対し、対策を対策を対策を対策を対策を対策を対策を対策を対策を対策を対策を対策を対策を対	で高学分時んどが 場代び動記で高学分時んどが B合の入等へたい所にたいす 出、動後つるのでに中打こてる。 願学状のいる 出中動後つる。 原学状のいる。	「各教」は135 「名録」は135 「記点との記点との記述」に 「記とし、「記とし、「記とし、「記とし、「記とし、「記とし、「記とし、「記とし、	人る はる 特学家いけ成を技てみ 願活内接評本・接段 各 接に理の、学をむ・技すらるごに実すと に階 科 は応科教学習問。家術るに場と関施ると実 つ評 共 各じ技科校活うたに分 B は、すし、 を実 つ評 共 各じ技科校活うだに分 B は、すし、 個す てす の数・つおの容、いの 出部の面階	作文について は段階評価する。	

別紙 2 【調査票】

I	学校番号	学 校 名	課程
	6 9	県立勿来工業高等学校	全日制

大学科	募集	十四日マロコムサケ	選 抜 資 料				備考
小学科	定員枠	志願してほしい生徒	志願理由書	調査書	面 接	その他	川 有
工業科 機 械 科	45% 程度	ものづくりに興味がある者将来エンジニアになるために、専門の知識や技術を意欲的に学びたいという意志のある者					
工業科電気科	45% 程度	・ 電気エネルギーの発生からその利用等に 興味のある者 ・ 電気工事士等の資格取得を希望する者 ・ 将来、電気関係の分野に就職又は進学し たいと考えている者					
工業科 電子科	45% 程度	・ 電子回路に興味があり、身近にある電子機器がどのように動作するのか学びたい者 ・ パソコンについていろいろな事を学びたい者 ・ 工事担任者等の資格取得を希望する者					
工業科建築科	45% 程度	・ 建物がどのように造られるかに興味・関心がある者 ・ 細かい作業が好きで、根気強く取り組める者 ・ 建築関係に就職、進学を考え、挨拶・返事・掃除等、基本的なことがしっかりできる者					
工業科工業化学科	45% 程度	・ 化学に興味があり、何事にも真面目に取り組める者・ 危険物取扱者などの国家資格を取りたい者・ 化学系企業への就職や大学進学を希望する者					

別紙 2 【調査票】

I	学校番号	学 校 名	課程
	6 9	県立勿来工業高等学校	全日制

Ⅱ期選抜

大学科	募集定員		学力検査と調査	備考		
小学科		学 力 検 査	調査書	面 接	書の成績の比重	1/用 右
工業科 機 械 科	(80)	5 教科とする。	「各教科の学習の記録」は 195 点満点 とし、「特別活動等の記録」は 55 点満	集団面接を実施する。	同等とする。	
工業科 電 気 科	(40)		点として、合計 250 点満点とする。	面接については段階評価す る。		
工業科 電子科	(40)					
工業科 建 築 科	(40)					
工業科 工業化学科	(40)					

Ⅲ期選抜

大学科		備考		
小学科	調査書	面 接	小論文 (作文)	加一行
工業科 機 械 科 電 気 科 電 子 築 科 工業化学科	「各教科の学習の記録」は 135 点満点とし、「特別活動等の記録」は 55 点満点として、合計 190 点満点とする。	個人面接を実施する。 面接については、段階評価する。 面接は各科の特性に応じ、数学、理科、 技術・家庭の教科について、中学校における学習活動の成果を問う内容を含む。ただし、技術・家庭においては技術分野のみと する。	作文を実施する。 作文については段階評価する。 あるテーマについて、400 字程度に自 分の体験・希望・考えなどをまとめる。	